

栄養健康研究会

【栄養研究部会】

<p>1, 2 月</p>	<p>2017 年度 第 1 回目の会議開催（1 月 25 日）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 部会の活動方針について意見交換 <ul style="list-style-type: none"> • 第 9 回ライフサイエンスシンポジウムの 2018 年開催を目標に今後活動していくこととした。（理由：上記シンポジウムの第 8 回は 2014 年に開催されたが、その後開催されていないため） 2. 第 9 回ライフサイエンスシンポジウムに向けて <ul style="list-style-type: none"> • 題目、テーマ等については、「案」を提案することとし、後日部会長が取り纏めることとした（2 月）。 • 「案」の取り纏めが終了したら、次回の部会で検討することとした。（なお、2019 年に開催が予定されている第 8 回「栄養とエイジング」国際会議も視野に入れるようにする。） 3. 勉強会開催に向けて <ul style="list-style-type: none"> • テーマ選定のため、各自、学会等でアンテナを張り、情報収集に努めることとした。
<p>3, 4 月</p>	<p>2017 年度 第 2 回目の会議開催（4 月 19 日）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 部会の活動方針について <ul style="list-style-type: none"> • 2020 年の東京オリンピック開催を視野に入れ、栄養研究部会は「運動と栄養」をキーワードとして、活動する。 • 『第 9 回ライフサイエンスシンポジウム』の開催は 2018 年 9 月を目標とする。 • 2019 年 9 月開催の第 8 回「栄養とエイジング」国際会議のテーマとして、「日本の食事」（健康な食事研究会）が予定されており、そこに「運動と栄養」（栄養研究部会）の成果（第 9 回ライフサイエンスシンポジウム）を取り入れる方向で考える。 2. 今後の方針について <ul style="list-style-type: none"> • 運動あるいは栄養の専門家（アカデミアの先生）にアドバイスをいただいた上で、シンポジウムのプログラム案を立案・作成していく。
<p>5, 6 月</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 『第 9 回ライフサイエンスシンポジウム（テーマ：栄養と運動）』の開催に向けて、プログラムの構成についてアカデミアの先生からアドバイスをいただくため、2017 年 6 月 9 日に国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 宮地元彦先生を訪問。 2. 2017 年度 第 3 回目の会議開催（6 月 27 日） <ul style="list-style-type: none"> • 宮地先生の面談内容（アドバイス）の部内で共有化した。 • 宮地先生を栄養研究部会のアドバイザーとしてお招きすることに関して、部会で賛同が得られた。 • シンポジウムは半日ではなく 1 日とし、開催時期は日本体力医学会と重ならない 2018 年 9 月前後 2 か月とする。 3. 今後の方針について <ul style="list-style-type: none"> • 7 月に再度宮地先生を訪問し、先生からアドバイスをいただきながら、シンポジウムのプログラムを立案・作成していく。
<p>7, 8 月</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 『第 9 回ライフサイエンスシンポジウム（テーマ：栄養と運動）』の開催に向けて、プログラムの構成についてアカデミアの先生からアドバイスをいただくため、2017

	<p>年 7 月 21 日に国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 宮地元彦先生を訪問。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「健康長寿の延伸につなげる栄養科学と運動科学の融合 — 基礎研究から応用研究まで —」となった。 ・シンポジウムは 1 日とし、2018 年 7 月 26 日（木）7:30～18:30 で東京大学弥生講堂一条ホールを予約した。 ・8 月 9 日に、宮地先生からご提案いただいた先生方に講演依頼状を送付した。 <p>2. 今後の方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9 月に再度宮地先生を訪問し、先生からアドバイスをいただきながら、シンポジウムのプログラムを立案・作成していく。
9, 10 月	<p>2017 年度 第 4 回 部会を開催し（9 月 27 日）、以下について情報共有した。</p> <p>1. 『第 9 回ライフサイエンスシンポジウム（テーマ：栄養と運動）』について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「健康長寿の延伸につなげる栄養科学と運動科学の融合 — 基礎研究から応用研究まで —」。 ・開催日：2018 年 7 月 26 日（木）（終日） ・場所：東京大学弥生講堂一条ホール（最大：300 名）。 ・プログラム案（講演依頼をご快諾ください先生方について） <p>2. 2018 年 ILSI Japan 研究会・研究部会 研究活動書・予算申請書について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の名称、成果、活動計画（上記 1 のシンポジウムの参加費、支出、収支等）について意見交換。
11, 12 月	<p>2017 年度 第 5 回 部会を開催し情報共有した（12 月 4 日）。</p> <p>1. 『第 9 回ライフサイエンスシンポジウム』について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「健康長寿の延伸につなげる栄養科学と運動科学の融合 —基礎研究から応用研究まで—」 ・開催日：2018 年 7 月 26 日（木）（終日） ・場所：東京大学弥生講堂・一条ホール ・プログラム案の最終バージョンについて：部会参加者で確認された。 ・ライフサイエンスシンポジウムの参加費について：部会参加者で確認された。 ・参加者増員のためのプロモーションについて：参加者増員のため、本シンポジウムの聴講が日本臨床栄養協会の「NR・サプリメントアドバイザー」、日本栄養士会の「生涯学習制度」、日本スポーツ栄養学会の「公認スポーツ栄養士」等の資格更新の研修単位として付与できるようにすることが提案された。 <p>2. 2018 年度に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記 1 のシンポジウムのプロモーションのため、日本臨床栄養協会、日本栄養士会等の研修単位制度の手続き等について情報収集することにした。 <p>3. 2019 年開催予定の「栄養とエイジング」国際会議について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「栄養とエイジング」国際会議のプログラム委員会に、栄養研究部会から 2 名（花王：三井、森永乳業：篠田）が委員として参加することが提案された。